



ふれあい

2016年4月
現在の会員数
男性 1,235名
女性 509名
合計 1,744名

2016年/4月
149号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



第5回 ふれあい作品展



第5回 ふれあい作品展

- 目次
- 平成 28 年度事業計画 2
- 役員・地域班長懇談会開催 3
- 第 5 回ふれあい作品展 3
- 生涯現役！輝くシルバーさん 4
- 各地域のボランティア活動情報 4
- 市民講演会「終活（未来ノート）と就活」 5
- 働く会員の職場訪問 5
- 第 20 回安全推進大会 6
- 第 2 回四谷地域懇談会 6
- 事務局の職務分担変更のお知らせ 7
- 会員さんの作品展ページ 7
- お知らせ 8

平成 28 年度事業計画のあらまし

1 基本方針

我が国の経済情勢は、景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、依然として景気の回復は厳しい状況にあります。当センターの契約件数はここ数年横ばいの状態にあり、会員に対する就業状況もいまだ厳しい状況となっております。こうした就業環境の中、センターは、請負・委任契約により就業機会を確保していますが、今後本格化する少子高齢化社会において持続可能な就業環境を実現していくためには、何よりその土台として、会員の皆さんが安心して生活し、働き、能力を発揮できる環境の構築を図っていくことが重要であります。こうした中、当センターでは今までの請負・委任契約に加え平成 28 年度からシルバー派遣事業（雇用）を実施いたします。そして、就業・雇用・ボランティア活動を広く展開し、地域貢献活動と会員の知識や経験を最大限に生かした就労を通じて、地域に信

頼され、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに会員自らの生きがいと健康を実現するために全力を尽くして参ります。

2 事業実施計画

(1) 組織体制の充実強化

センターは、会員の自主的な組織であるという意識の向上を図り、センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の一層の浸透と会員相互の理解を深め、組織体制の充実強化に努めます。

(2) 就業機会の開拓及び提供

新たな就業機会の確保及び拡大のため、公益財団法人東京しごと財団の指定を受け、労働者派遣事業を実施します。このことにより、今までセンターになかった「労働者」という形態の働き方が加わり、会員の持つ知識・経験・資格等を活かしたより多様な就業を可能にします。また、就業開拓員を継続

して配置し、就業機会の開拓を行うとともに、管理業務職場の適正なローテーション化により、公平な就業機会の確保に努めます。

(3) 普及啓発活動

センター事業の理念や仕組みを広く地域社会にアピールし、各界及び市民の理解と支援を得るため、さまざまな情報を提供するとともに、新たに開始する派遣事業について市内各事業所への PR に努めます。

(4) ボランティア活動

会員による社会貢献活動が活発に行われるよう支援するとともに地域ボランティア活動を広く展開し、地域に貢献する活動への理解と参加を促します。

(5) 相談及び調査研究

高齢者の就業に係る相談や各種資料の収集、調査を実施し、就業機会の創出に努めます。

(6) 研修、講習の充実

発注者に高品質のサービスを提供するため、会員のスキルアップと意識の向上を図る研修・講習事業を実施します。

(7) 安全対策の推進

会員の安全就業はすべてに優先するものであり、就業中の事故や経路途上中の事故を未然に防ぐため、日頃から会員自らが自己管理する責任や就業規則・基準の遵守に努めるとともに安全と健康に対する意識を高め、心身の健康維持に関する指導を強化します。

(8) 会員の増強

センターの趣旨、就業のあり方など事業への理解を深め、就業及び組織活動に積極的に参加できる会員の獲得に努めます。特に女性会員の組織率を高めるため、女性会員の入会を促進します。

役員・地域班長懇談会開催



1月14日(木)恒例の役員・地域班長懇談会がホテル・コンチネンタルで高野律雄市長はじめ、市川一徳市議会議長、小山有彦副議長、西宮幸一市議会副議長、福田千夏厚生委員長を来賓にお迎えして、総勢70余名が一堂に会して、盛大に開催されました。

第1部の来賓との懇談会は、渋谷会長から「本年は一層のチームプレー・チームワークの向上を目指し、また会員の拡大、就業の拡大を図る」との年頭挨拶があり、高野市長から「永年培ってこられた経験、技術を駆使して、市民のためにあらゆるところで活躍いただいております」との謝辞がありました。続いて西宮市議会議長のご発声で乾杯が行われ、1時間半の和やかな歓談が行われました。

第2部の会員情報交換会は各地域の班長さんから地域懇談会開催に当たって会員集めの苦労話とともに昨年の具体事例が報告されました。「人集めに妙薬は無い。日頃の地道な努力で会員とのコミュニケーションを向上し、良いと思われるあらゆることを駆使して、参加をお願いするしかない」との報告がありました。

松本地域委員長から「日頃のご苦労に感謝する」との閉会挨拶があり活発な意見交換を終わりました。



第5回 ふれあい作品展

2月19日(金)〜22日(月)府中グリーンプラザ5階展示ホールで開催されました。

60歳以上の市民の方とシルバー会員の作品(絵画、日本画、写真、工芸、書道、書・掛軸)等61点が展示されました。内、会員作品は29点でした。

力強い油彩から鮮やかなモザイク画に迫力ある写真や、絵の具を使用しない細かなちぎり絵に達筆な書や、昭和時代を彷彿とさせる今にも動きそうな人形工芸等々、



バラエティーに溢れた作品に子供から大人まで興味深く鑑賞されておりました。

作品展も回を重ねて、広く市民の方にも発表の場として定着し更なる広がりを目指しております。



生涯現役！輝くシルバーさん⑤

筆耕チームで、

水莖会顧問の吉野睦栄さん



吉野睦栄さんは、センターが依頼を受けた幼稚園や小中学校の卒業証書や皆勤・精勤など賞状の名入れ作業、会社の総会の式次第や年賀状の宛名などを毛筆で書く「筆耕チーム」で仕事をする傍ら、書道に接する機会が減っている中、後継者を育成する「水莖会」の顧問を務めています。

パソコン頼みで書の世界に疎い私に「水莖とは、毛筆の筆跡のことですよ」と教えてくれた吉野さんの人生は、まさに「字と共にある」といっても過言ではありませぬ。「父親が俳句を嗜み、読み方を教えてくれた」のをきっかけに、大和仮名や変体仮名に興味を持つようになった吉野さんは高校で書道部に在籍、社会人になってから、通信教育で本格的に書の道を進み始めます。師範の資格を取る一方で、現代書作家協会の公募展で特

選に選ばれるなど「芸術書道」にも専念。シルバーでは培ってきた書の腕を活かして、「実用書道」も手掛けることになりました。

先日「400枚ほどの卒業証書を納品しました」と吉野さん。

時には横3メートル、縦1メートルものイベント用の吊り看板も手掛けるとのこと。手書き離れの昨今ですが、「少しでも役に立てれば」と話します。水莖会の皆さんは「先生のおかげで甥の結婚式の招待状を任された」「こないだ先生はいない」と口を揃えます。これからお元気気で、筆耕チームをけん引してください。



各地域のボランティア活動情報

新町地域ボランティア清掃

片町地域ボランティア清掃

第27回目となる新町地域ボランティア清掃が2月11日(木)午前8時から開催されました。新町地域には、新町はじめ浅間町、栄町、天神町の皆さんが含まれます。平成23年10月から偶数月に実施され、今までは各回平均20人ぐらいの参加者でありましたが、今回は2月の寒い時期にも関わらず29名の参加がありました。最初に、永年お世話頂いた出口地域委員から地域委員交代の挨拶等があった後、新町文化センター↓いちよう通り↓美術館通り↓生涯学習センター迄の歩道を中心に約3kmの行程で行われました。最後は学習センター隣の「平和の森公園」に集結して、ゴミを分別して袋に入れて、約1時間の作業を終了しました。



恒例の「片町公園」ボランティア清掃も平成24年3月24日(土)に始まり、今年4年目で偶数月に実施され、2月20日(土)に23回目を迎えました。朝9時から10時までの1時間を目安に始めます。今回は19名の方が参加されました。ボランティア清掃活動は大勢の方が率先して参加されています。分倍河原駅南口周辺と、バスロータリーなど、ゴミ拾いを重点に空き缶やたばこの吸い殻などが目立ちました。

「市民講演会」終活(未来ノート)と就活

「将来への不安」会員の皆さん誰もが一度は考えたことがあるのではないのでしょうか？そんな不安に向き合うための女性向け講演会が3月28日、ふれあい会館で開催され、40人ほどが参加しました。冒頭、センター副会長の山口弘美さんから「60歳以上の就活は生きがいづくりに加え、これまで培ってきた仕事や家庭でのキャリアも活かせる。子育てや介護など女性が活躍できる場が増えている」と、あいさつがありました。

講演では、初めに府中市社会福祉協議会社会福祉士の樋口都さん(写真1)が登壇。平均寿命は男性79歳、女性86歳、健康寿命は71歳と74歳で、各々、9年と12年間で、介護が必要になる可能性がある。認知症患者が現在の460万人から20年後には700万人になるという見通しを踏まえ、「今のうちに『未来ノート』を準備して、家族や親しい人のため



写真1

に意思を伝える必要があること」を強調しました。

続けて、社会福祉士の岡崎博子さん(写真2)が具体的な書き方を説明しました。ノートの組み立ては急な入院に備えた病歴や薬、知らせてほしい連絡先や人生の振り返り、認知症や介護が必要になった時の介護者や施設、財産管理、延命治療の有無、葬儀や遺言など多岐に亘り、いずれも現時点での自分の意思を書きとめておくようになっていきます。岡崎さんは「明日、何があるか分からない。誕生日や年度初めなど日を決めて更新してほしい」と話します。

「未来ノート」(350円)は市役所とふれあい会館の社会福祉協議会で販売、市のHPからもダウンロード可能です。皆さんもこの機会に終活を始めてみませんか？



写真2

働く会員の職場訪問 「植木班」

今回は、各家庭、公共施設等の植栽剪定で活躍の植木班です。主に小林班長さんにお話を伺いました。

植木班の一年は、正月明けの脚立点検から始まり、年2回のリーダー会議と全体会議それに安全講習会を実施して班全体の意思疎通を図りながら安全を重視して活動しています。その他、春先の市民向け植木講習会を実施したり、自転車競技会、シルバーフェア等に参加しております。

2月現在会員は40名で、グループ13組とフリーの会員により基本2人以上で作業をします。

仕事の流れは、まずお客さんの依頼に基づき、センターより割り当てられた各リーダーが、下見見積もり、日程調整、脚立等手配、作業会員の調整を行った後、作業に入り、終了後リーダーは残材等の回収調整、就業確認となります。26年度実績でいうと、2225件、延べ3万時間、契約金56百万

円の活動実績があります。

会員対策としては、仕事の質の向上と接遇のためセンターの先駆けて17年に作成した「就業内規・就業ガイドライン」による活動、安全面では25年に第3者機関と協同で作成した「安全マニュアル」の実践に心がけています。

猛暑、厳冬、蜂に茶毒蛾何のその、「緑の街府中」を守る気概で「樹木の健全な育成と美観の維持」を motto に植木班会員は日々楽しく活動しています。



第20回 「安全推進大会」

元氣一番！ふちゅう体操と健康体操

積雪が残る中、1月22日（金）、体の健康と安全に関心のある37名の方々が、ふれあい会館に集まりました。年2回の大会は、今回で20回目を迎えます。

田嶋安全委員長、渋谷会長から安全の心構え等の挨拶後、本題の「元氣一番！ふちゅう体操と健康体操」です。

府中市介護予防センター・佐藤奈津子講師の明るく元氣な掛け声で始まりました。まずは「府中小唄」の音楽に合わせて、太鼓をたたき、馬の手綱を引く、おみこしポーズ等、くらやみ祭にちなみ楽しい動きの運動です。10分程の体操でしたが、血行が良くなり顔を紅潮



される方、暑くなつてセーターを脱ぐ方、息切れされる姿も見受けられました。佐藤講師から、今までは準備運動です。これからが本番ですとのお話で、運動不足の方は覚悟を決めた様子です。次は、「立つ・歩く」の筋肉、骨、関節の機能低下や筋力低下で「転倒・骨折」を補強するストレッチやスクワット運動です。息を止めずに運動する、水分補給は鉄則です。講師の指導に体の動きが付いていけず笑い声もありましたが、全員メニューをやり遂げました。



誰しも気持は若いつもりでいますが、筋力の衰えを実感しながらも、爽快な気分の一時間でした。

第2回 四谷地域懇談会

2月21日（日）に本センター今年度最後の地域懇談会が、松田事務局長、松本地域担当理事出席のもと、四谷文化センターで開催されました。

第一部では、松田事務局長から「センターの現状と主な課題」の説明があり、松本理事、林崎地域委員からもそれぞれ報告がありました。今回の懇談会も30名（四谷全会員98名）と30%以上の出席の上、浅井是政地域委員の特別参加もあり、活発な状況説明や質問が



ありました。

第二部は、「四谷和太鼓チームF」の6名による和太鼓で、勇壮な「一倍河原合戦」など3曲を鑑賞しました。少年少女5名中3名が女子でしたが、男子に引けをとらずキビキビとした動作で、力強く太鼓を打っている姿は感動ものでした。

続いてのビンゴゲームでは、リーチやビンゴの声もかき、和氣あいあいと各自お好みの景品を選んでいきました。いつも通りに盛会の懇談会でした。



事務局の職務分担 変更のお知らせ

- ・齋藤事務局長代理
センター運営全般
- ・馬場次長
総務委員会担当、法人運営関係、管理・庶務・財務事務全般
- ・竹田次長
業務委員会担当、業務事務全般、公共・民間事業、植木剪定、お助け隊、書道教室、刃物研ぎ
- ・湯沢次長(昇任)
地域委員会担当、会員の入退会・説明会・面接会、統計・調査、公共・民間事業、大工、襖
- ・市川主任
公共・民間事業、施設管理・自転車整理等
- ・伊澤主任(昇任)
広報委員会担当、経理担当、予算・決算、職員の給料・福利厚生入金管理、税務関係
- ・小谷田
安全委員会担当、派遣事業、公共・民間事業、草刈・除草・清掃
- ・ケナフ名刺、パソコン教室
- ・佐藤(嘱託)
家事援助サービス、和裁、洋服リフォーム、一般家庭日常清掃着付け
- ・毛木(嘱託)
民間事業所日常清掃
- ・大谷(嘱託)
育児・子育て支援事業、お助け隊、子育てひろば
- ・川上、鶴田、青木(臨時職員)
事務補助

会員さんの作品展の写真・絵画・書・小物手芸など



小絵山利康さん(油絵)



島田榮一さん(洋画)



山本久美子さん(日本画)



渋谷好子さん(ちぎり絵)



小池秀平さん(水彩画)



榎方鷹揚さん(モザイク画)



徳田豊彦さん(写真)



胸形誠吾さん(写真)



田中 睦さん(写真)



吉柳奎吾さん(写真)



高橋幸夫さん(写真)



瀬戸忠男さん(写真)

- ▲絵画(6)、写真(6)
 - ▶工芸(4)、書道(4)
 - ▼書・掛軸(9)
- 以上、会員作品29点



小林勝子さん(工芸)



桜井久江さん(工芸)



田中 猛さん(書)



松井やす子さん(工芸)



須田孝市郎さん(工芸)



青柳 近さん(書)



清水正之さん(書)



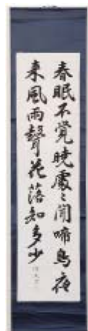
浜元行男さん(書)



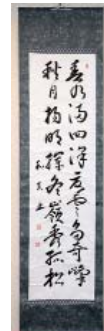
塩沢登美子さん(書)



阪本光子さん(書)



山本淳夫さん(書)



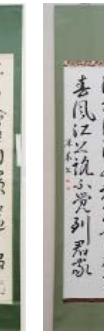
高橋和夫さん(書)



柏倉重隆さん(書)



朝川 幸さん(書)



内藤力子さん(書)



谷川和子さん(書)



吉田敏雄さん(書)

●毎号会員の皆様からの投稿をお待ちしております。下記Eメールアドレスまたは事務局まで奮ってご応募ください。
fsc@fsc.or.jp

シルバー派遣のご案内

平成 28 年 4 月から新たに『シルバー派遣事業』が始まります。

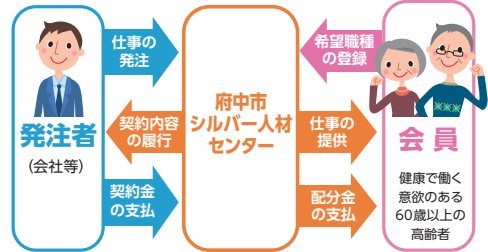
『シルバー派遣事業』とは

《高齢者等の雇用の安定等に関する法律》に基づき、東京都シルバー人材センター連合が行う労働者派遣事業をいいます。

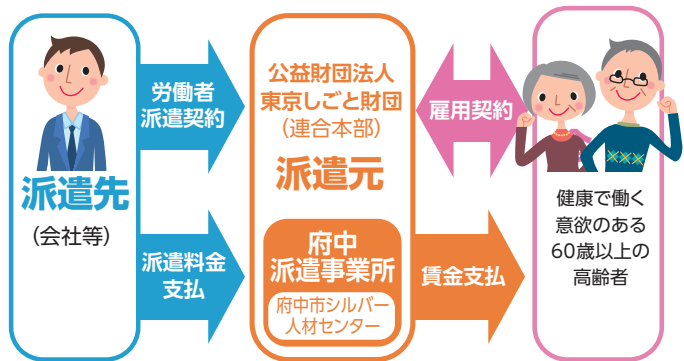
『シルバー派遣の特色』

指揮命令の下で働き、労災保険の適用となります。
臨時的・短期的・軽易な業務とされ、目安として月 10 日以内、週 20 時間未滿の就業となります。
今後就業の機会の拡大が期待される本事業は事前の登録が必要です。ふるって皆さんのご参加をお待ちしております。
詳細は事務局までお問い合わせください。

請負の場合



シルバー派遣の場合



◆退職

3月31日付けで臨時職員の大坪弘さんが退職されました。大変お疲れさまでした。

◆新規事務局職員採用

4月8日付けで事務局の臨時職員に採用されました。どうぞよろしくお願いたします。

事務員 青木 久美子さん



平成28年度主な行事予定

実施月 行事名

- 4月 多摩川ボランティア清掃 (10日)
- 6月 地域班長会議 (1日)
- 7月 自転車競技大会 (4日)
- 7月 第67回定時総会 (17日)
- 7月 第1回安全推進大会 (22日)
- 8月 商工まつり (6~7日)
- 9月 地域懇談会
- 9月 (実施期間9月~3月)
- 10月 交通安全式典パレード (10日)
- 10月 府中市シルバー人材センターフェア (13~14日)
- 10月 けやき並木清掃ボランティア (20日)
- 10月 府中リサイクルフェスタ2016 (22日)
- 11月 府中市民協働まつり
- 11月 つながりフェスタ (19~20日)
- 1月 役員班長合同懇談会 (13日)
- 2月 第2回安全推進大会 (20日)
- 2月 第6回ふれあい作品展 (17日~19日)

平成28年 第67回定時総会の開催について

当センター定時総会を次の日程で開催します。詳細につきましては、改めて通知いたします。公益社団法人 府中市シルバー人材センター

第67回定時総会

日時 平成28年6月17日 (金) 午後1時
場所 府中の森芸術劇場
ふるさとホール

計 報

藤脇 博人 (宮西町)
小形 美代 (南町)
小沢 佳代子 (緑町)

編集後記

平成28年度総会に向けて事業計画のあらましが決まりました。

新たにシルバー派遣事業への参入が始まります。今までの請負事業に加えて更なる希望の職種や事業者が増えることにより、今後の就業の機会の拡大が期待されると思われま。前もって本事業参加の登録をお勧めします。

新年を迎えた恒例の役員・地域班長懇談会が1月に市長はじめ一堂に会し、新しい年に向けて抱負が話し合われました。

昨年に続き、広く60歳以上の市民も参加する「ふれあい作品展」も開催され多彩な作品が集まり、多くの方の発表の場として定着されるように期待しています。

各地域のボランティア活動も盛んになり、多くの地区で定着してきました。また、子育て支援や介護支援などに女性会員の活躍する機会が増えています。今後もさらに多くの女性会員のシルバーへの入会を期待して女性の為の「市民講演会」を継続して開催の予定です。